

Berlin

エコシステムの特徴・トレンド

- ◆ ベルリンはドイツ全土のVC投資の6割を獲得、ユニコーン企業数と共にドイツ国内トップのスタートアップの聖地。技術人材の確保が見込める上、物価が安く、英語を使用できる環境が大きな魅力となり、外国からの参入者も多数。スタートアップ向けのイベント、ミートアップ、ハッカソン等も充実している。
- ◆ 米Googleが出資するFactoryの他、2019年にモビリティに特化して作られたThe Drivoryなど分野別コワーキングスペースが存在する。
- ◆ ベルリンで特に注目を集めるのは、モビリティ・フィンテック・EC・ヘルステック分野。2020年にテゲル空港に代わってベルリン・ブランデンブルグ国際空港がグランドオープン。2017年に政府主導でスマートシティ・プロジェクトが発足したことを受け、交通の利便性を向上するスマートシティ分野にも注目が集まる。
- ◆ 立地の良い国際的なハブ都市として、欧米を始めアジアとも連携したエコシステムとして発展中。

提携先

CROSSBIE UG



- ・ドイツを中心にヨーロッパのスタートアップとのオープンイノベーションを狙う企業向けにコンサルティング・アクセラレーションプログラムを提供。
- ・スタートアップ関連イベント主催経験が豊富であり、ベルリン経産省国際部門が毎年行う#AsiaBerlinのジャパンパネルも務めるなど、ドイツ・ヨーロッパのVC、アクセラレーター、ベンチャー育成機関、政府関連機関等と強力なネットワークを持つ。
- ・大企業との協業、製品開発、デューデリジェンスなどステージに応じたメンタリングを行う。

メンター例



山本知佳, Founder, Managing Director

エンジェル投資家・起業家。ノキアにて欧州向けUX開発とビジネスデベロップメントに従事後、モバイルアドプラットフォームをゼロから立ち上げる。ニューヨークでEdtech創業に携わり、香港の企業にエグジット。



Ms. Nana Bit-Avrugin, EIT Health

EITヘルスのスタートアップメンターであり、ピッチコンテストの審査員を務める。病院やディストリビューターとの橋渡しによりスタートアップの市場進出をサポート。



Mr. Ryo Chikushi Bondini, Partner infraLab0

EUREF-Campusにあるスマートシティインキュベーション施設のパートナーとして、基幹産業とスタートアップの連携支援を行う。



Mr. Roman Koudous, 日系企業専門弁護士

世界上位のeスポーツ企業で弁護士としても活躍するほか、日本とドイツにて、日系スタートアップ・企業専門弁護士として法的観点からアドバイスする。

色彩豊かな欧州のスタートアップエコシステム

ジェトロ・グローバルアクセラレーションハブ設置都市



日系スタートアップの現地事業展開および、日系企業の現地スタートアップとの協業・連携活動を個別にお手伝いします。

www.jetro.go.jp/services/jhub/

ロンドン

欧州最大のエコシステム。2020年の投資額は106億ドル（都市別で世界4位）。投資先のTop3はフィンテック、ヘルステック、エンタープライズ向けサービス。

パリ

スタートアップ支援策フレンチテックと豊富な理系人材を背景にAI/ディープテックに強み。充実した研究開発税制により近年グローバル企業によるR&D投資も盛ん。

ヘルシンキ

環境問題の解決やQOL向上に対する官民の高い関心と推進力がローカルのみならずグローバルでも競争力を持つスタートアップを創出。SLUSHの開催地。

ベルリン

ドイツ最大のエコシステム。成長領域はフィンテック、AI・データ、IoT、クリーンテック、ヘルス・バイオテックなど。外国人による起業が7割を占め、英語でビジネスが可能。

デュッセルドルフ

独最大の経済州の州都。エネルギー、機械・自動車、IT分野の大手・中堅・スタートアップが集積。Fraunhofer IPT、アーヘン工科大学では5G、IoT研究が盛ん。

ミュンヘン

BtoBのスタートアップが集積。BMW、シーメンスなどの自動車・機械関連分野の協業・潜在顧客が存在、ミュンヘン工科大学等からのスピノフも多い。

色彩豊かな欧州のスタートアップエコシステム

その他注目のスタートアップエコシステム

アムステルダム

欧州各市場へのアクセスが良く、英語話者が多い。Uber、Netflix、Tesla等米企業が、欧州事業拠点として同地を選択。フィンテック、スマートシティに強み。

ダブリン

英語圏、若い労働力、低廉な法人税を背景に、GAFAも開発拠点を構える。アイルランドの人口一人当たりのスタートアップ投資額は英国をしのぐ。

バルセロナ

南欧最大、投資件数で欧州5位のエコシステム。スマートシティやバイオ技術に強み。手頃な人件費と質の高い生活環境も魅力。携帯見本市「MWC」の開催地。

リスボン

ウェブサミット誘致を追い風に近年急速に発展。タイムラー、グーグル、富士通など外資デジタル開発拠点設置も相次ぐ。欧州の中でもコストメリット、人材等に定評。

ストックホルム

北欧トップのVC投資額を誇る。医学分野で著名なカロリンスカ研究所、5Gインフラをリードする通信大手のエリクソン等が立地。都市別ユニコーン数は欧州2位。

タリン（エストニア）

エストニアのスタートアップ数は人口10万人あたり85社と欧州で最も多い。法人設立から運営まで全てオンラインで可能な上、法人税が配当のみにかかる制度が特徴。

ビリニウス（リトアニア）

近年海外からの直接投資が増える新興のエコシステム。欧州のフィンテックのハブの座を狙い、中央銀行もフィンテックの成長を後押しする政策をとっている。

コペンハーゲン

近年、フィンテック、フードテック、デジタルヘルス等でスタートアップが成長。欧州のバイオテッククラスターとして名高いメディコンレーも広がる。

チューリッヒ

連邦工科大学（ETH、EPFL）から輩出される人材と技術力が強み。スイス全体では伝統的に強い金融、医薬品産業に加え、近年はICTやフードテックも台頭。

ミラノ

ミラノのあるロンバルディア州を中心に、近年企業数・投資額ともに拡大中。企業向けサービス（R&DやITサービスなど）が多い。